

令和3年度 第2回 遠州流域治水協議会

議事要旨

日 時：令和4年3月15日（火曜日） 13：30～14：55

場 所：WEB会議

1. 開会

2. 開会あいさつ

（国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所長）

3. 挨拶

（磐田市長）

（袋井市長）

（菊川市長）

4. 議事

(1) 規約改正について

- ・ 事務局より遠州流域治水協議会の規約改定（案）について説明した。
 - 規約改正について承認された。
- ・ 挨拶（国土交通省 気象庁 静岡地方気象台長）

(2) 流域治水プロジェクトの追加変更について

- ・ 事務局より菊川水系流域治水プロジェクト及び天竜川（下流）水系流域治水プロジェクトについて説明した。
- ・ 事務局より馬込川水系流域治水プロジェクト及び都田川水系流域治水プロジェクトについて説明した。
- ・ 事務局より太田川水系流域治水プロジェクトについて説明した。
 - 5つの流域治水プロジェクトの追加変更の内容について承認された。

(3) 流域治水対策の実施状況の報告・フォローアップについて

- ・ 事務局より菊川流域分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。
- ・ 事務局より天竜川本川分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。

<主な意見>

- ・ P6 の令和3年度取組について、P8 に記載された静岡県西部農林事務所の進捗実績が含まれていない。
⇒追加するように修正する。
- ・ 事務局より浜松市域分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。
- ・ 事務局より磐田市域分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。
- ・ 愛知県新城設楽農林水産事務所より大千瀬川流域分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。
- ・ 事務局より太田川流域分会の流域治水プロジェクトの令和3年度取組報告及び令和4年度取組予定を説明し、了承された。

<主な意見>

- ・ P21 のとおり磐田市でマイ・タイムライン講座が開催された。今後、このような取組の際には、今回作成するパンフレットを活用するなど、流域治水のPRをしていただきたい。

(4) 流域治水プロジェクトに係る情報提供について

- ・ 中部地方整備局河川部河川計画課長より、流域治水プロジェクトに係る情報提供として、水害リスクマップ及び流域治水プロジェクトの事例等について説明した。

(5) 全体を通して

- ・ 今後の課題は、住民参加の視点である。マイ・タイムラインの推進、パンフレットを人目に付くところに置くなど、流域治水プロジェクトに対する住民参加の視点での課題及びアイデアなどを教えていただきたい。
- ・ ハザードマップの全戸配布を踏まえ、マイ・タイムラインの作成方法を指導する出前講座を実施し、理解を深めていただいた。来年度以降、公共用地を活用した雨水貯留施設などの検討を進めるに当たって費用面での支援や技術的な指導をいただきたい。
⇒補助事業や交付金事業について、参考になるものを改めて紹介する。

- ・ 線状降水帯やゲリラ豪雨などの降雨予報の現状や今後の見通しについて教えていただきたい。
- ・ 線状降水帯の予測については、努力しているが、技術の限界もあることを理解いただきたい。今後も予測精度の向上を含め、努力していく。
- ・ 昨年度からキキクルでは台風時の 1 日先の危険度分布を提示している。線状降水帯の予測情報は、半日先の予測ができるように、令和 4 年度の出水期を目途に検討を進めている。
- ・ 今後に向けて、新たな取組により精度の高い予測をいただけるとありがたい。全国的にみると、熊本県では線状降水帯やゲリラ豪雨の研究が進められていると聞いている。自治体としても、広域で連携する際には、観測機器や情報提供等で協力しながら、より安心・安全な予報の提供に尽力いただきたい。
- ・ 磐田市のマイ・タイムライン講座は、青年会議所が自らの発案で始め、それを市がフォローしたものである。市民側から動き出せる仕組みを整えていきたい。また、磐田市では、平成 21 年度まで戸建て住宅に対して雨水貯留施設の設置補助事業を実施しており、啓発という意味で効果があるため、議会からも提案いただいている。オール遠州で考えていくとよいという問題提起として発言させていただいた。
- ・ 中部地方整備局河川部河川計画課長より流域治水プロジェクトの事例集の紹介があった。今後も、このような事例を参考に、取り組みたい事例や提案があれば積極的に議論していきたい。また、補助制度や支援に関する情報共有についても、この協議会の枠組みやネットワークを活用していきたい。

5. 閉会あいさつ

(静岡県袋井土木事務所長)

6. 閉会

以上